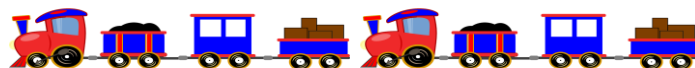


第12期第2回 概要報告



7月27日に、第2回千代田区生涯学習推進委員会議が開催されました。今回はちよだ生涯学習カレッジ第1期生が卒業式を迎えた事と第3期生の募集について報告を受けた後、今期のテーマを検討するにあたり、千代田区の生涯学習施策の状況について情報共有を行い、意見交換を実施しました。これから具体的な検討を行っていくための、第一歩となったのではないのでしょうか。

以下、概要をお伝えいたします。

ちよだ生涯学習カレッジについて

I. ちよだ生涯学習カレッジとは

ちよだ生涯学習カレッジは、学びで人と地域をつなぎ、グローバルとローカル、社会と個人の交流となる事をめざし、学びを地域に還元し、社会貢献に積極的な人材をサポートする事を目的とし、平成28年10月に開校した生涯学習大学です。

授業は2年制で36回行われ、講義形式以外に、生涯学習やボランティアの現場見学や体験、ワークショップなどの多様な方法を採用し、地域での活動(実践)に結び付けるとともに、学びあいを通し大人同士の関係や場づくりに努めています。

II. 初の卒業生を輩出

ちよだ生涯学習カレッジが開校して以来初の卒業生として、「学びと地域のコーディネーター養成コース」に在籍する第1期生22名が平成30年7月18日に卒業式を迎えました。卒業式では、卒業生一人ひとりが「ちよカレ宣言」として、卒業後の抱負を発表しました。



III. 卒業後の活動

22名の卒業生は「学びと地域のコーディネーター」として認定されました。千代田区生涯学習人材バンクやちよだ生涯学習カレッジサポーターへの登録等を通じて、2年間の学習成果を地域で生かす事が期待されます。ちよだ生涯学習カレッジ事務局では、卒業生の活動もサポートしていきます。



IV. 第3期生の募集

これまでは「学びと地域のコーディネーター養成コース」の1コースを設置していましたが、第3期生が入学する平成30年10月から新たに「千代田まちマイスターコース」を設置します。「千代田まちマイスターコース」は千代田区の土地や街に精通し、自分の言葉で千代田のまちについて語ることができる人を目指し、体験的に学ぶことを重視したコースです。

平成30年6月20日から8月16日まで第3期生の募集を行っており、入学説明会を平成30年7月14日(第1回)と8月1日(第2回)に行いました。

第1回入学説明会では、ちよだ生涯学習カレッジで講師を務める東京大学名誉教授の佐藤一子先生による公開講座「コミュニティ はじめの一步」を実

施しました。ちよだ生涯学習カレッジ第1期生と第2期生の方々にちよだ生涯学習カレッジに入学したきっかけや入学してよかったこと等を語っていただき、入学説明会に参加した方々との間で質疑応答を行いました。

今期のテーマについて

千代田区生涯学習推進委員会議では、2年間の任期の中でテーマを設定した提言書を作成し、区長に対して提言を行っています。

第12期のテーマについて今後検討するにあたり、千代田区の生涯学習施策の状況について情報共有を行った後、意見交換を行いました。

I. 千代田区の生涯学習施策

千代田区全体の基本計画である「ちよだみらいプロジェクト」(平成27年3月)には、「めざすべき10年後の姿」として、区民一人ひとりが、多様な学習活動の機会を得て交流を深め、生涯にわたって学びを深める事ができ、その成果を活かす事のできる生涯学習社会となっている事が掲げられています。

「めざすべき10年後の姿」を実現するための主な取組みとしては、(仮称)生涯学習大学の創設(※)と講座・講習会の充実が設定されており、(仮称)生涯学習大学修了者数の指標としては、平成31年度には100人、平成36年度には150人が設定されています。

※平成27年3月時点では、生涯学習大学が設置されていませんでしたが、現在はちよだ生涯カレッジ(平成28年10月開校)の事を指します。



II. 今後の進め方

「めざすべき10年後の姿」を実現するために必要な具体的な行動や要素について、生涯学習推進委員会議で議論を進め、区として取るべき行動を盛り込んだ提言書の作成を目指します。

大まかなスケジュールとして、今年度は千代田区生涯学習推進委員会議での意見交換を通じて、情報収集や意見の汲み上げを行います。次年度は前半2回程度の会議で提言書のまとめに向けた内容を検討し、後半3回程度の会議で提言書をまとめます。



III. 意見交換の主な内容

- 新たに千代田区に転入した住民に対して、地域で行われている活動をどのように周知するかが課題
- 歴史の遺構が数多くある千代田区において、歴史とともに防災についても学ぶべき
- 区内在住・在勤・在学者が生涯学習活動を通じて交流する事で、千代田区を愛する人が増えるのではないかな
- ちよだ生涯学習カレッジのように、何か成果物を作って達成感を得たり、一緒に汗を流して活動する事で、交流が活性化するのはないかな
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催をきっかけとして、国際化を進めていく事も生涯学習につながる
- SNS等のインターネット上でのつながりが目立つ中で、ちよだ生涯学習カレッジは生涯学習を通じて人と人が直接つながる非常に重要な拠点やプラットフォームになりうる
- 区内の学校に通う子どもたちが区民と触れ合うにあたって、子どもたちにファシリテーターをやらせる事で子どもたちにとっては貴重な体験になる
- 口コミでの広がりや学校間の連携を高める事で、「めざすべき10年後の姿」を実現するための主な取組みはどんどん増えていくのではないだろうか
- 千代田区での学びに関する情報が分散しており、全体像が見えにくい側面もある。情報を集約して、新しい区民、在勤者、高齢者や退職した方に生涯学習のきっかけを提供してほしい



リレー随筆

ちよだ生涯学習カレッジの継続的发展 を目指して

細野 修一

(千代田区専修学校各種学校協会 会長)

私は6年前に1回、佐藤会長の下でリレー随筆を書いております。その時はまだちよだ生涯学習カレッジは開校しておらず、私自身も千代田区生涯学習推進委員の役割をはっきりとは理解しないまま、引き受け進んでいました。

ちよだ生涯学習カレッジ第1期生の卒業式に出席させていただき、年齢構成をみても、これだけの人材がよく集まったなと考え深いものがありました。20歳代から70歳代までまんべんなく集まり、その中心的年代が50歳代というのも良かったです。それは、社会経験も豊かであり、かつ少しずつ時間が取れるようになる年代でもあるからです。また、キュレーター、千代田まちマイスター、千代田区生涯学習人材バンクにおける人材、カレッジサポーターになるためには、2年間で36回の授業のほか調整力や洞察力等の能力を求められるからです。

6年前と比べると千代田区は、夜間人口も増えており、さらなる人材が集められると思います。23区の中心であり、日本の中心でもある千代田区は、伝統・文化・歴史においても江戸時代の遺構やもろもろの物が残る地域でもあります。旧神田区は、下町情緒ののこる区域であり、旧麹町区は武家屋敷から山の手となった区域であります。

我々はこの恵まれた環境をいかし、さらに発展させようではありませんか。

まちの魅力を知っていただくために

滝本 真紀子

(昌平評議会コミュニティスクール運営委員会)

私には区内の小学校と中学校に通う子どもがおりまして、生涯学習推進委員のお話をいただいた際には、育児ばかりで学びとは無縁の生活をしている自分に務まるわけがない…と尻込みしておりました。

しかし、ちよだ生涯学習カレッジの「学び」の内容を知っていくうちに、子育て中ほど地域との結びつきやまちの魅力を知る機会が多くあり、私の経験もお役に立てるかもしれないと思いました。

小学校では通学路のパトロールや周辺の清掃活動などがあります。所属している昌平評議会コミュニティスクール運営委員会では、地域の方々と、「子どもが安心して過ごせる環境作りについて」の話し合いや、地域イベント開催のお手伝いをしています。

このような活動を通して、私は自分の住む街の素晴らしさを知ることができました。でもこれは子どもがいなかったらできなかったことかもしれません。

今後、学びと地域コーディネーターや千代田まちマイスターの方々が、色々な世代や職種の人々と地域を結びつける手助けやまちの魅力を教えてくださいましたら、より多くの方が千代田の良さを知ることが出来ると思います。

そのような学びのお手伝いができるように、私自身も学びながら委員を務めさせていただきたいと思っています。



【編集／発行】

千代田区 地域振興部 生涯学習・スポーツ課
〒102-8688 千代田区九段南1-2-1
TEL 03(5211)3632
FAX 03(3264)1466
E-mail shogaigakushuu@city.chiyoda.lg.jp